

若狭ネット

85号 2004年 7月10日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！

げんぱつ」連絡会(〒915-0235今立郡今立町不老6-36 山崎方 TEL0778-42-3630) 大阪：日高原
発に反対する大阪の会(〒583-0005藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660)

ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/>

E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

【6月21日、経済産業省と交渉をしました】

六ヶ所再処理工場を動かすな！脱再処理に転換せよ！ 品質保証がデタラメな関電は プルサーマルを中止せよ！



質問状を共同提出



6月21日、全国から55団体、171個人の賛同を得て、六ヶ所再処理工場のウラン試験凍結「原発優遇措置の導入反対」原発核燃料サイクル政策の抜本的転換を要求する経済産業省交渉を行いました。青森、福島、福井、浜岡、京阪神、首都圏から約30名の方々と共に追及しました。台風6号、四国・近畿地方直撃、京阪神から参加した人たちの帰りの新幹線が不通。急ぎよ寝台特急「富士」に切り替え、約7時間かけて、無事大阪に到着することができました。

8月2日(月) 関電交渉 (予定)

午後6時、関電本社前に集合して下さい。

みんなで追及しよう！関電を！

- ・ 火力発電の品質保証はデタラメだった。原発でもそうでしょうか？！
- ・ 海外でのMOX燃料加工契約を破棄せよ！ 自ら 発電品質保証できない関電だから。
- ・ どうなっているの5月の大飯3号炉の事故は？ 圧力容器上蓋管台の冷却水漏れ

現在、原発・核燃料サイクル政策をめぐることは、六ヶ所の再処理工場を動かすかどうか、プルサーマルを許すかどうか、焦眉の課題となっています。

原発から出る使用済み核燃料を再処理し、エネルギーとして再利用するというのが、今の国の政策です。

しかし、電力会社が再利用政策を今まで通り進めると、大きな負担が強いられ、電力自由化競争に生き残れない。国としてもこれ以上、電力会社にかわり税金を増やすわけにはいかないということで、どうするべきかで、すったもんだしています。

六ヶ所の再処理工場を動かすと、今後十数兆円を国民負担するかが大問題となり、プルトニウムの核拡散も問題となります。さらに将来にわたり国民に大きな負担を強いることになるのではないかと、大問題が生じます。

六ヶ所の再処理工場を止めねばなりません。プルサーマルを中止させねばなりません。

夢を語れない経済産業省

6月21日の経済産業省との交渉で、役人の答弁を聞いていても、「原発の夢」など語るといふ姿勢では全くなく、今まで先送りしてきた金のかかるエネルギー政策をいかに「広く、うすく」国民に負担させるかという結論を公開の中で合意させるかに四苦八苦している始末でした。

今回の交渉でわかったことは、六ヶ所の再処理工場を動かしても、再処理コストが海外委託より2.5倍と高いため、電力会社には再処理コスト回収の負担を軽減すること。そして、再処理工場を経営する日本原燃には危険な長期連続フル操業を強いるということ。回収したプルトニウム利用が決まっていないことでした。これでは、ますます危険が増すばかりで、重大事故は避けられません。事故による居住不能地域や住めない地域などが出る前に、再処理工場のウラン試験運

転を止めねばなりません。

脱原発、脱再処理を原水禁大会で訴えよう

少子・高齢化が進む中で、経済産業省ですら「電力需要は伸びるところかダウンする」と推定せざるを得ず、原発新增設計画も「目標」ではなく「趨勢(すうせい)」、「見通し」と言い方を変え、スローダウンさせています。「すうせい」(なりゆき、傾向との意味)などという聞き慣れない言葉を考え出し、あくまで原発推進を押しつける国のあり方に大いに疑問を感じざるをえません。

経済産業省も原子力委員会も再処理政策に不利なデータを隠して再処理路線を進めてきたことが明らかにされています。

私たちは、原発バックエンド費回収のための制度措置の検討を中断し、六ヶ所再処理工場のウラン試験計画を中止すべきだと考えます。そして、六ヶ所再処理工場を本当に動かすべきかどうか、再処理路線を抜本的に転換し、脱再処理・脱原発路線に転換すべきではないのかどうかを、すべての隠されたデータを全面公開し、国民的なレベルで議論を尽くすべきではないでしょうか。

今、原水禁大会でも、訴えていきます。

品質保証ができない関電に対し交渉を

関電の不正が次々と明らかになってきました。関西国際空港と11基の火力発電所等で記録のねつ造、品質記録の書き換えなど、品質管理ができていないことが暴露されました。地域で電力を一手に独占してきた関電の体質を露呈したのです。これで原発を安全に管理し、保証体制を確立していると、誰が信じるのでしょうか。

私たちは、関電交渉を8月2日に予定しています。あつい夏本番ですが、関電のデタラメな組織的体質を追及し、プルサーマル中止、再処理中止を求めていきます。是非参加して下さい。共に参加して、追及していきましょう。

今後の予定

7月19日(月) 午後1時半から

ヒバク問題討論会

長尾さんに続け 未だ補償されないヒバクシャの補償をめざして
クリアランスレベルの法制化を許すな

ヒューマインド(総合福祉センター) JR芦原橋駅下車 徒歩5分

8月2日(月) 関電交渉 (予定)

午後6時、関電本社前に集合して下さい。

8月5日(木) 午後1時半から4時

被爆59周年原水爆禁止世界大会

ヒバクを許さないつどい Part 5 に参加しよう

長尾さんに続け! 未だ補償されないヒバクシャの補償をめざして

ー広島・長崎・東海村・ビキニ・ヒバク労働者を結んでー

会場 広島市 ワークピア広島

『6月21日経済産業省交渉の賛同カンパのお礼』

緊急の呼びかけに、多くの賛同とカンパをよせて頂き、
ありがとうございました。多くの成果が得られました。

また 約16万円のカンパが、集まりました。

青森、福島、福井、大阪、兵庫から参加された方の交通費の半額をなんとかまかなうことができました。しかし、全額個人負担の方もおられます。

今後ともご協力をよろしくお願い致します。

郵便振込口座 00940-2-100687 若狭ネット



編集後記

- ・ 鈴木富士子さんが、6月23日亡くなりました。彼女は、和歌山県田辺市周辺で活動されている「ゆくさの会」の代表でした。わたしも和歌山県日高の生まれですので、とても親しくおつきあいをさせていただきました。10数年前、日高原発・日置川原発の建設計画を止めるため、共に闘ったあの日のあついあつい勇姿が、まるで昨日のこのように思い出されます。あなたの力を私たちの中に・・・
- ・ 三菱自動車のリコール問題が新聞記事に載っている最中に、関電もデータ改ざんの記事が。大会社が大きな不正を次々と行う組織の体質にうんざりとしています。しかし、関電は、原発をもっている。事故が起これば、多くの世代が犠牲になる、なんとしても原発を止めねば。

きよ子